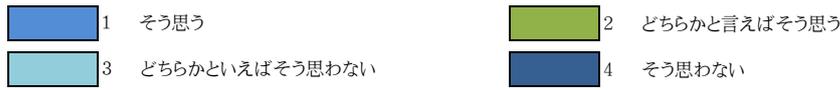


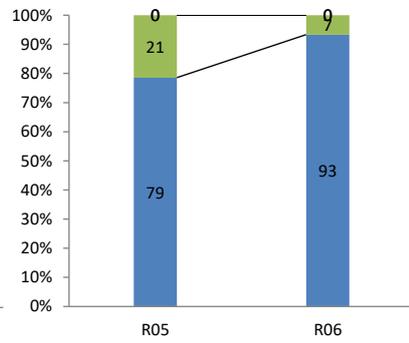
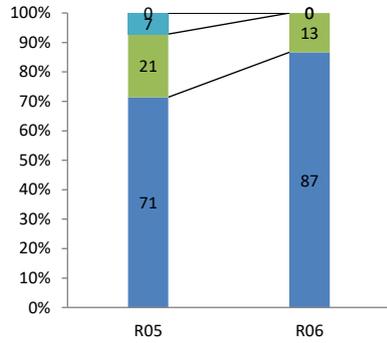
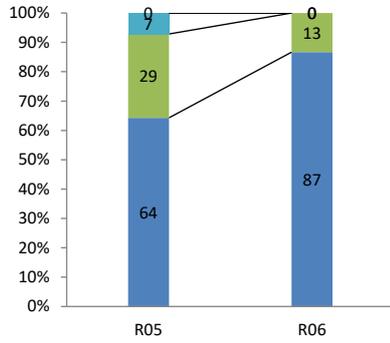
令和6年度 釜石高校定時制 学校評価 前年度との比較(生徒)

回答者数 令和5年度 14名(回答率100%) 令和6年度 15名(回答率100%)

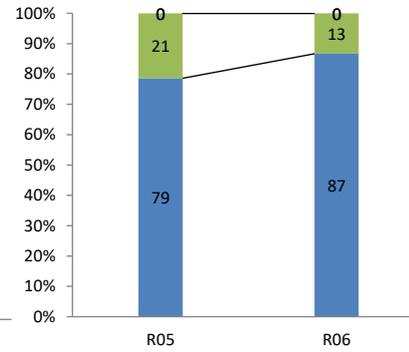
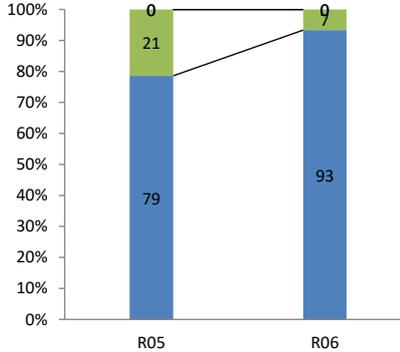
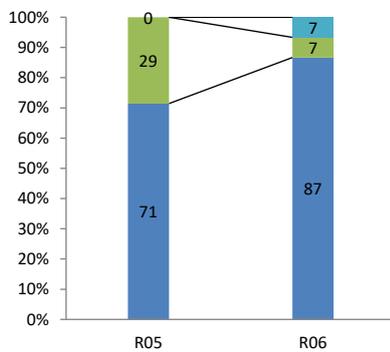
回答基準



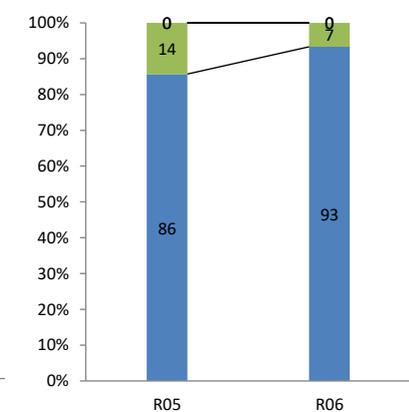
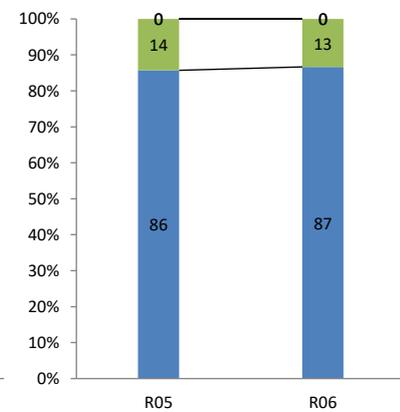
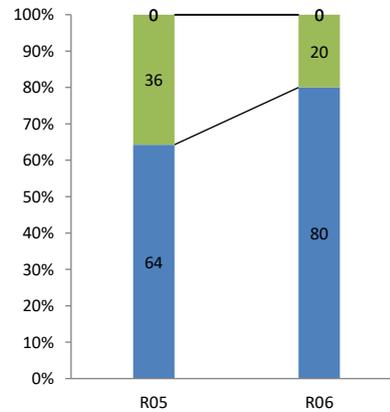
- 1 学校は、生徒の希望・期待を生かし、それに応えようと努めている。
- 2 学校は、生徒一人ひとりを大切にした指導や支援をしている。
- 3 先生は、授業の内容や教え方を工夫し、分かりやすい授業をしている。



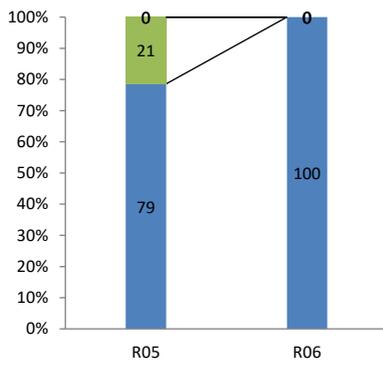
- 4 先生は、生徒の学習活動をさまざまな面から評価している。
- 5 学校は、生徒にとって有意義な学校行事(体験学習、釜高祭、生活体験発表会等)を企画・実施している。
- 6 学校は、服装や挨拶、交通安全の指導などを適切におこなっている。



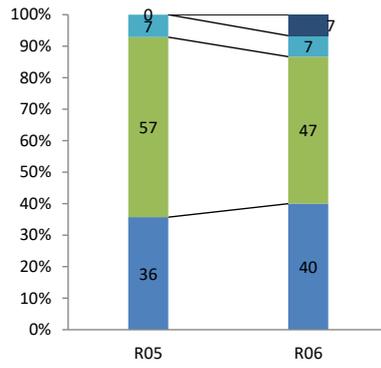
- 7 学校は、アンケートや面談等でのいじめの未然防止や早期発見に努めている。
- 8 学校は、健康診断や保健講話、食育などの健康指導等、疾病の予防や健康管理について、適切に指導している。
- 9 学校は、教育相談及び心身の健康相談を適切におこなっている。



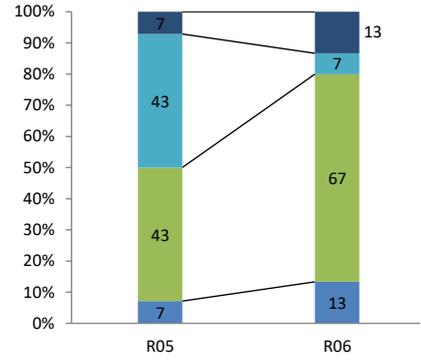
10 学校は、防災体験学習や避難訓練等を定期的におこな
い、防災意識を高めている。



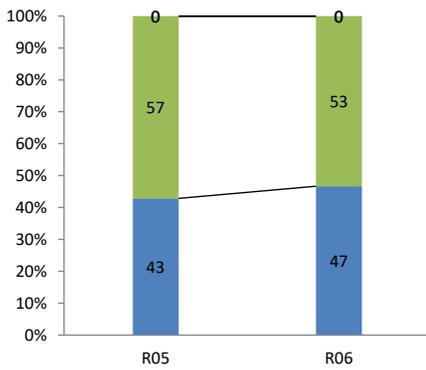
11 あなたは、学習面において「自ら学び、考え、判断する」
ことができるようになっている。



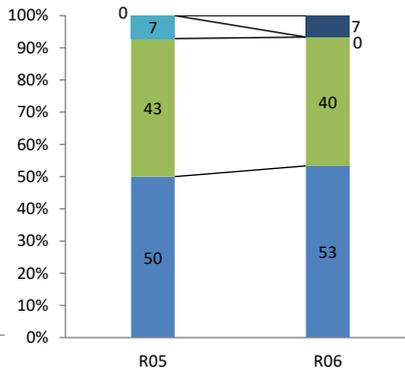
12 あなたは、予習や復習、週課題など家庭学習に取り組
んでいる。



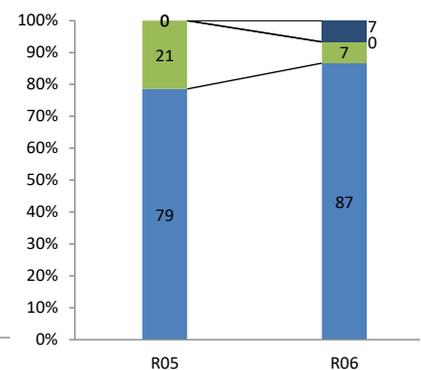
13 あなたは、体験学習を通して、コミュニケーションを大切
にしたり、相手の意見を尊重したりしている。



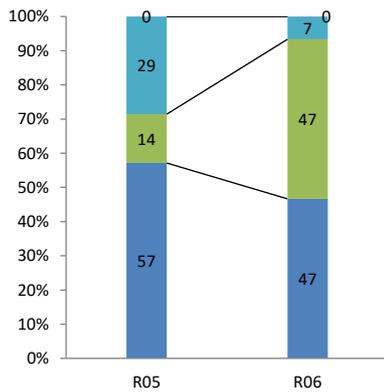
14 あなたは、生徒会活動や体験学習に仲間と協力しなが
ら、積極的に取り組んでいる。



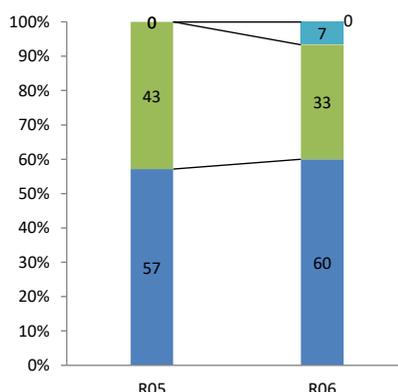
15 あなたは、いじめと疑われるような言動を慎むように心が
けている。



16 あなたは、事業所見学(キャリアアップ事業)やインター
ンシップなどの進路学習をきっかけに、将来の生き方や
進路について考えている。



17 あなたは、本校定時制に入学して成長している(成長し
た)。



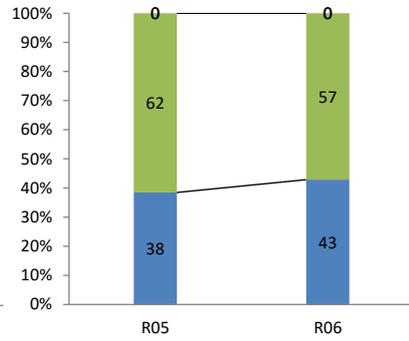
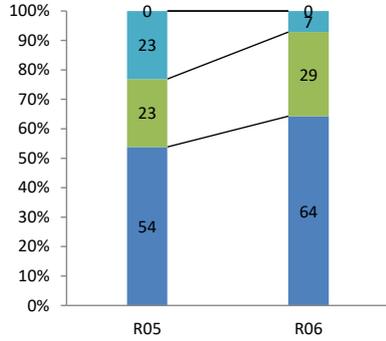
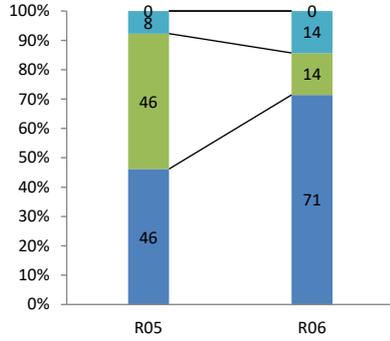
令和6年度 釜石高校定時制 学校評価 前年度との比較(保護者等)

回答者数 令和5年度 13名(回答率93%) 令和6年度 14名(回答率93%)

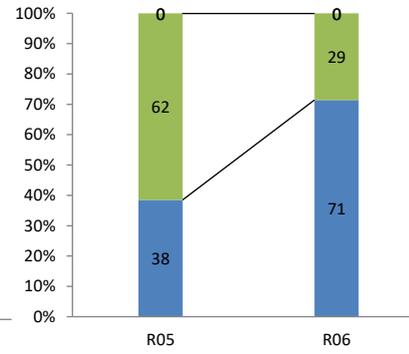
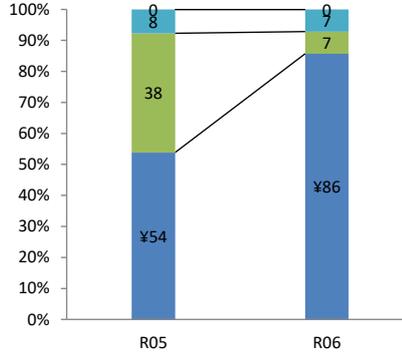
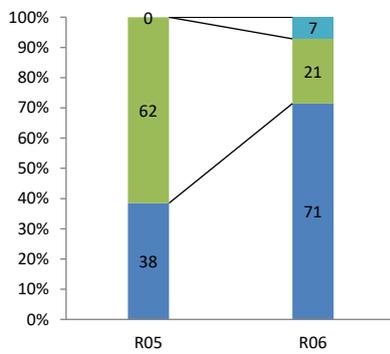
回答基準



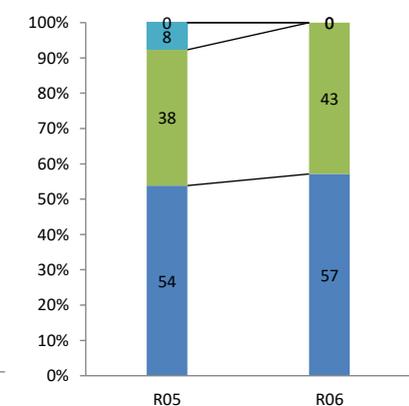
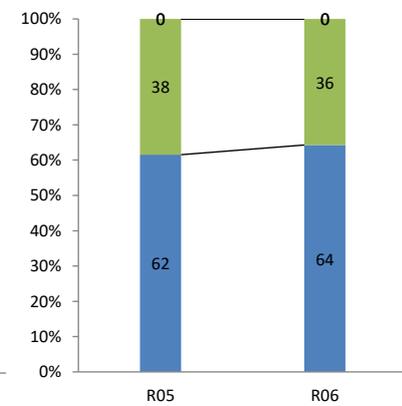
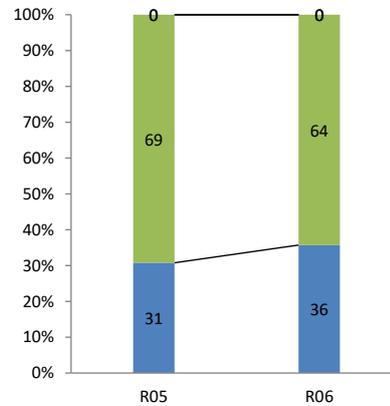
- 1 学校は、生徒の希望・期待を生きし、それに応えようと努めている。 2 学校は、生徒一人ひとりを大切にしたい指導や支援をしている。 3 先生は、授業の内容や教え方を工夫し、分かりやすい授業をしている。



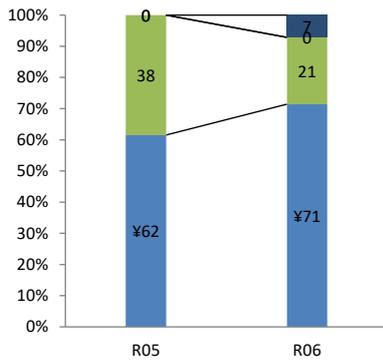
- 4 先生は、生徒の学習活動をさまざまな面から評価している。 5 学校は、生徒にとって有意義な学校行事(体験学習、釜高祭、生活体験発表会等)を企画・実施している。 6 学校は、服装や挨拶、交通安全の指導などを適切におこなっている。



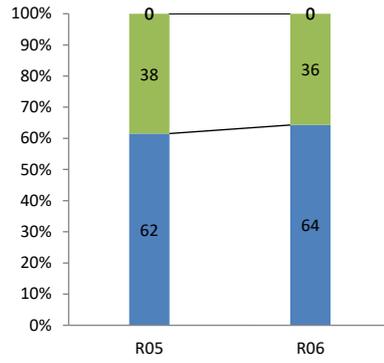
- 7 学校は、アンケートや面談等でのいじめの未然防止や早期発見に努めている。 8 学校は、健康診断や保健講話、食育などの健康指導等、疾病の予防や健康管理について、適切に指導している。 9 学校は、教育相談及び心身の健康相談を適切におこなっている。



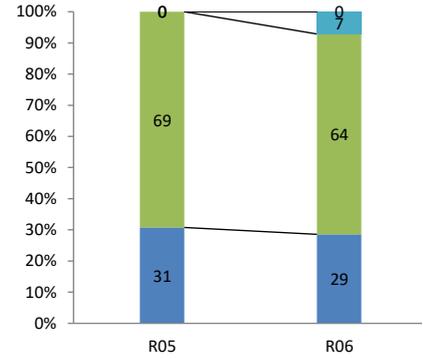
10 学校は、防災体験学習や避難訓練等を定期的におこな
い、防災意識を高めている。



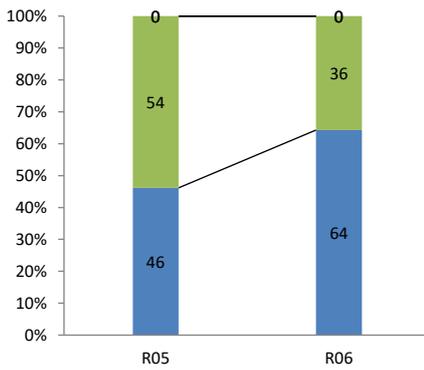
11 生徒は、学習面において「自ら学び、考え、判断する」こ
とができるようになっている。



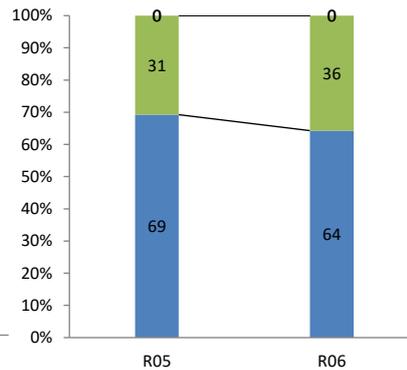
12 生徒は、予習や復習、週課題など家庭学習に取り組ん
でいる。



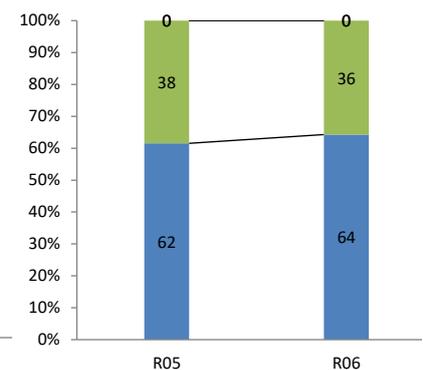
13 生徒は、体験学習を通して、コミュニケーションを大切に
したり、相手の意見を尊重したりしている。



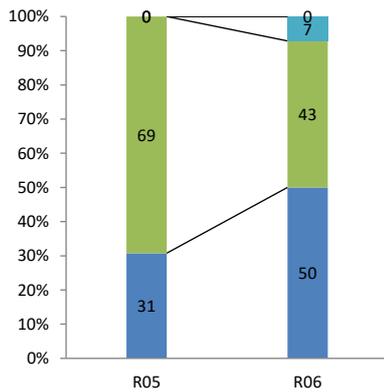
14 生徒は、生徒会活動や体験学習に仲間と協力しながら、
積極的に取り組んでいる。



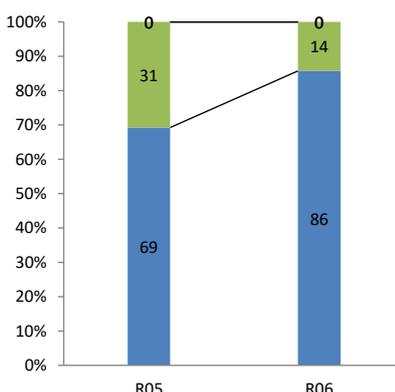
15 生徒は、いじめと疑われるような言動を慎むように心が
けている。



16 生徒は、事業所見学(キャリアアップ事業)やインターン
シップなどの進路学習をきっかけに、将来の生き方や進
路について考えている。



17 生徒は、本校定時制に入学して成長している(成長し
た)。



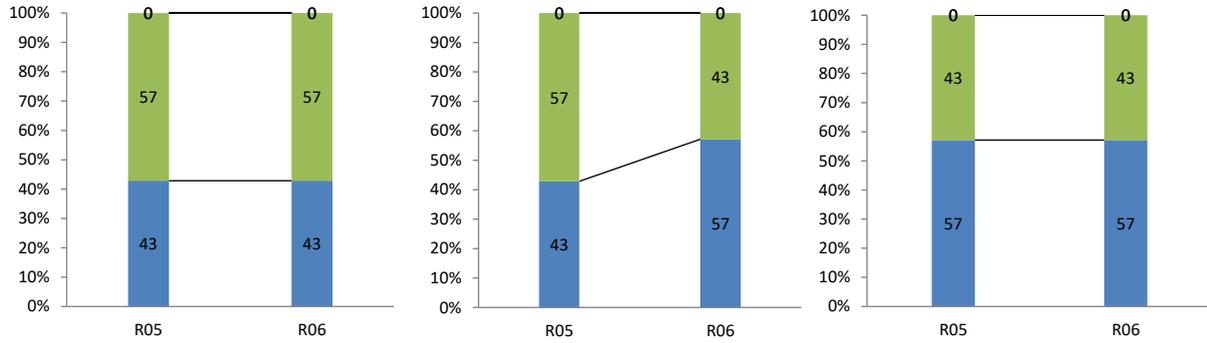
令和6年度 釜石高校定時制 学校評価 前年度との比較(教員)

回答者数 令和5年度 7名(回答率100%) 令和6年度 7名(回答率100%)

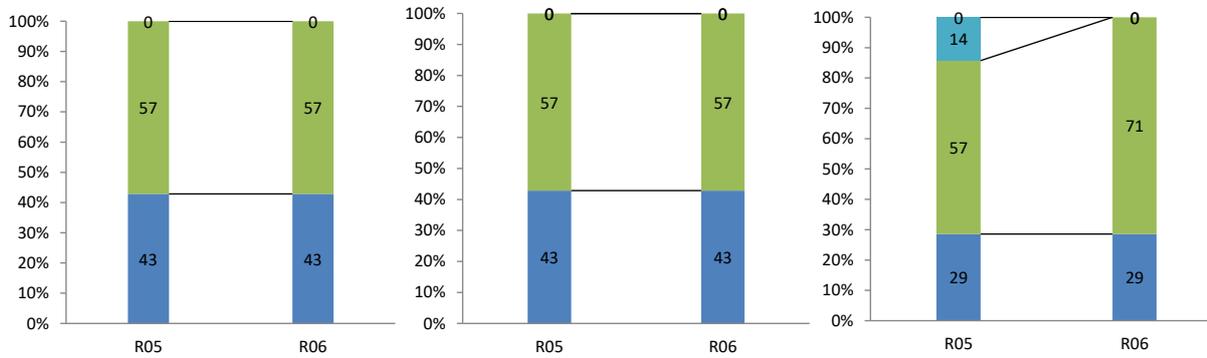
回答基準



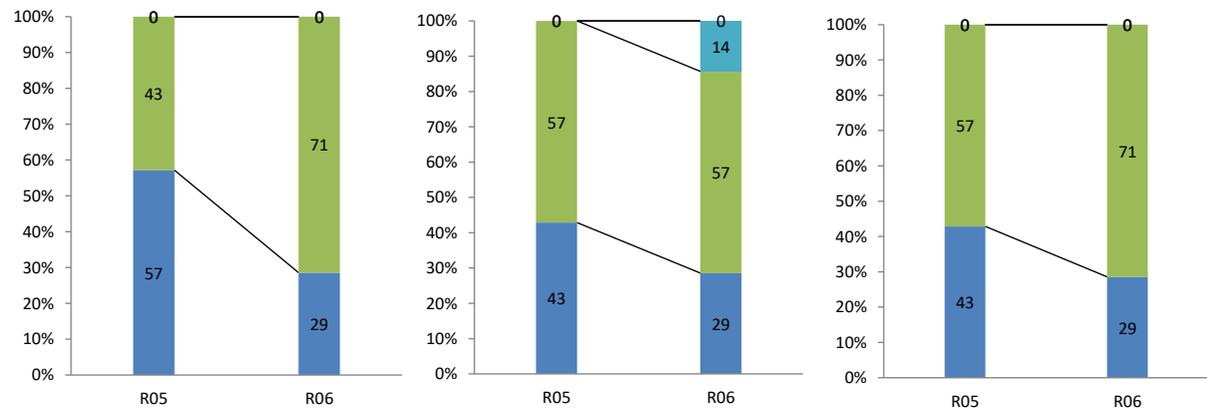
- 1 私は、生徒や保護者の希望・期待を生かし、それに応えようとしている。
- 2 私は、生徒一人ひとりを大切にしたい指導や支援をしている。
- 3 私は、授業の内容や教え方を工夫し、分かりやすい授業に努めている。



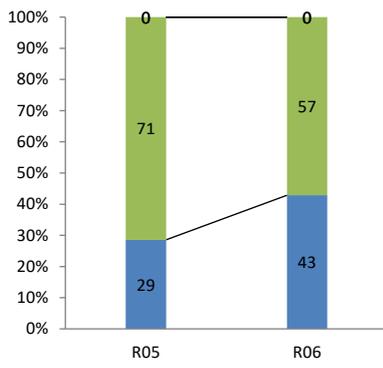
- 4 私は、単単別評価を円滑に行うなど生徒の学習活動を多面的に評価している。
- 5 私は、生徒の実態をふまえ、学校行事(体験学習、釜高祭、生活体験発表会等)の運営に取り組んでいる。
- 6 私は、服装や挨拶、交通安全等の指導を適切におこなっている。



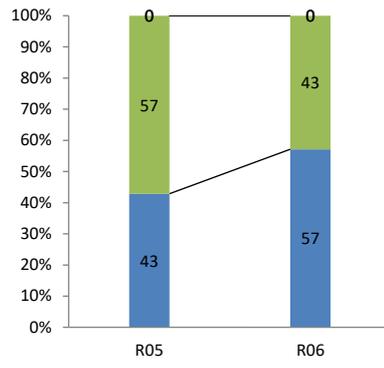
- 7 私は、アンケートの定期的な実施や個人面談を通し、いじめの未然防止や早期発見に努めている。
- 8 私は、健康診断や保健講話、食育などの健康指導等を活かし、疾病の予防や健康管理について、適切に指導している。
- 9 私は、教育相談及び心身の健康相談の機会を活かし、適切な指導・支援に努めている。



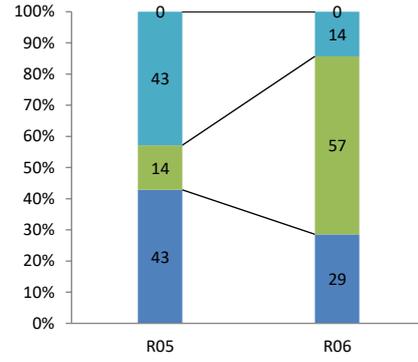
10 私は、防災体験学習や避難訓練等の機会を活かし、生徒の防災意識の高揚を図っている。



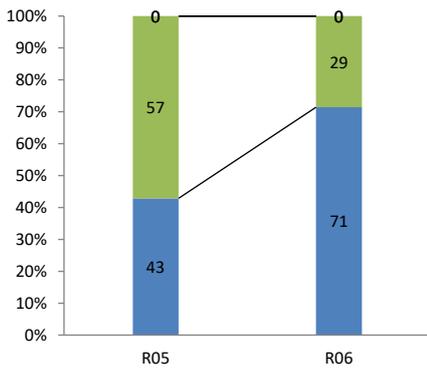
11 私は、生徒が「自ら学び、考え、判断する」ことができるような授業づくりに努めている。



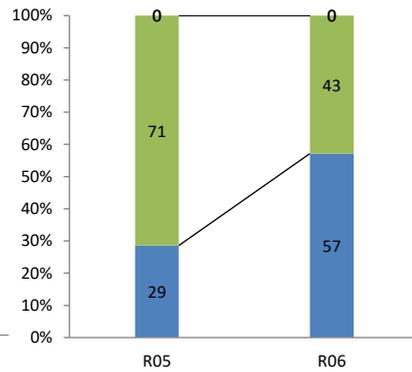
12 私は、週課題等の提示を通し、生徒が家庭学習を習慣づけられるよう工夫している。



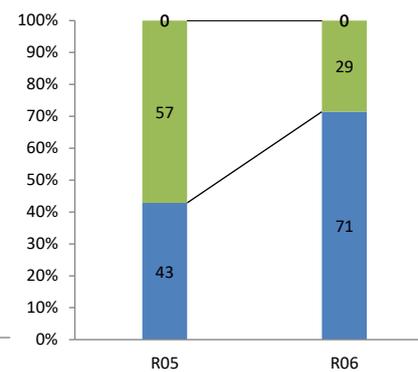
13 私は、日常生活や学校行事(体験学習、盆高祭、生活体験発表会等)を通して生徒のコミュニケーション能力を高めるとともに、他者を認め、思いやりの心を育んでいる。



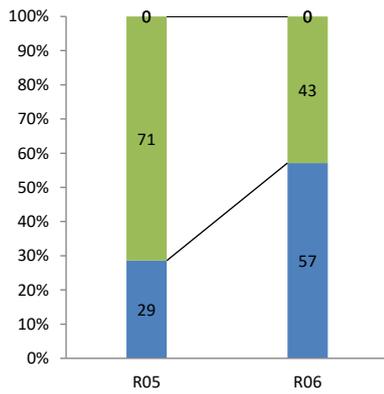
14 私は、生徒会活動等の集団活動や体験的な活動を通して、生徒が主体性や協働意識を育んでいくよう、指導・支援している。



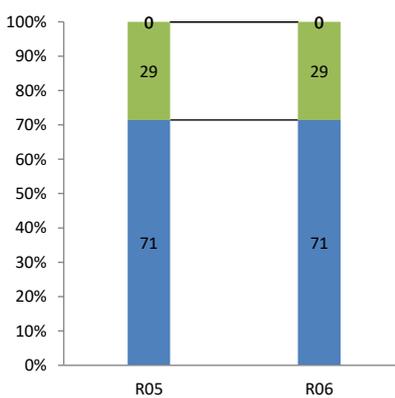
15 私は、いじめ防止の基本方針にもとづき、生徒が主体的にいじめ防止に取り組むよう指導している。



16 私は、生徒にとって、事業所見学(キャリアアップ事業)やインターンシップが進路意識の高揚や自己実現の足掛かりとなるよう、指導・支援している。



17 私は、生徒が本校定時に入学して成長している(成長した)と感じている。



令和6年度 学校評価集計結果分析及び考察

1 全体

【分析】

・評価基準1「そう思う」と評価基準2「どちらかと言えばそう思う」の合計について、生徒96%、保護者97%、教員98%であり、全体として評価が高かった。

・生徒及び教員の評価において、昨年度低評価だった評価項目No.12「家庭学習への取り組み」は、生徒が50%から80%に、教員が57%から86%に改善した。また、生徒の評価項目「事業所見学（キャリアアップ事業）やインターンシップなどの進路学習をきっかけに、将来の生き方や進路について考えている。」も71%から93%に改善するなど、すべての評価項目で80%以上となった。

【考察】

・高水準の評価を維持するため、次年度以降も個々の生徒の伸長・発達をめざし、教育活動全体を通じて適切な指導・援助を行う。そのために、生徒一人一人を大切にしたい指導や支援を充実するための研修の実施や情報の共有を図る。

2 生徒

【分析】

・昨年度80%未満だった評価項目No.12「あなたは、予習や復習、週課題など家庭学習に取り組んでいる」(昨年度50%)は80%に改善されたものの、評価基準4の「そう思わない」と答えた生徒の割合が昨年度の7%から13%に増加しており、家庭学習への取組に対する二極化が見られる。

・評価項目No.11「あなたは、学習面において『自ら学び、考え、判断する』ことができるようになっていく。」について、昨年度の93%に対し87%に評価を下げた。

【考察】

・家庭学習への取組に対する二極化について、個々の状況に合わせて、生徒が家庭学習の効果を実感したり、意義を認識したりするような工夫や、学習の習熟の程度に応じた課題の内容や分量の調整をする。また、必要に応じて学習の仕方を学ぶ機会を設ける。

・評価項目No.11「『自ら学び、考え、判断する』学習」について、学習の機会を創出することや、その機会を通して生徒自身が「自ら学び、考え、判断する」ことができることを実感するような手立てを講ずる。

3 保護者等

【分析】

・昨年度80%未満だった評価項目No.2「学校は、生徒一人ひとりを大切にしたい指導や支援をしている。」(昨年度77%)は93%に改善された。

・評価項目No.1「学校は、生徒の希望・期待を生かし、それに応えようと努めている。」がやや低い評価(87%)となった。

【考察】

・評価項目No.1に対し、面談等を通して生徒のニーズを確認するとともに、個に応じた指導をする。そのため、教員間で情報を共有し、組織的に対応する。

4 教員

【分析】

・昨年度80%未満だった評価項目No.12「私は、週課題等の提示を通し、生徒が家庭学習を習慣づけられるよう工夫している」(昨年度57%)は86%に改善した。

・評価項目No.8「私は、健康診断や保健講話、食育などの健康指導等を活かし、疾病の予防や健康管理について、適切に指導している。」が昨年度の100%から86%に評価を下げた。

【考察】

・評価項目No.12については、生徒の家庭学習に対する取組が二極化していることをふまえ、生徒個々の状況に合わせて生徒が家庭学習の効果を実感したり、意義を認識したりするような工夫のほか、学習の習熟の程度に応じた課題の内容や分量を調整するとともに、必要に応じて学習の仕方についてアドバイスする。

・評価項目No.8について、担当課においては保健だよりの作成や食育実習等で生徒主体の活動が展開されるなど工夫がみられることから、教員個々の授業やHR活動等において取り上げる学習内容等と関連付けた指導を心掛ける。